

みずほCustomer Desk Report 2017/04/06号 (As of 2017/04/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.77 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.85	1.0678	118.37	1.0016	1.2445	0.7567
SYD-NY High	111.45	1.0689	118.79	1.0080	1.2498	0.7587
SYD-NY Low	110.54	1.0635	118.03	1.0013	1.2423	0.7558
NY 5:00 PM	110.70	1.0664	118.05	1.0047	1.2482	0.7569
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.905/9.3		△25RR	1.058	Yen Call Over	

	債券市場	日本2年債	-0.1950	▲1.9bp
NY DOW	20,648.15	▲41.09		
NASDAQ	5,864.48	▲34.13		
S&P	2,352.95	▲7.21		
日経平均	18,861.27	51.02		
TOPIX	1,504.66	0.12		
ソコ日経先物	18,845	▲120.00		
ロンドンFT	7,331.68	9.86		
DAX	12,217.54	▲64.80		
ハンセン指数	24,400.80	139.32		
上海総合	3,270.31	47.79		

	為替市況	USD/CNH	6.8825	0.0037
USDJPY 3M Vol	9.38	▲0.13%		
USDJPY 6M Vol	9.31	▲0.14%		
EURJPY 3M Vol	11.40	0.11%		
EURJPY 6M Vol	10.58	0.02%		

	商品市況	CRB指数	186.147	0.55
		ドルインデックス	100.56	0.02
		NY金	1,248.50	▲9.90
		WTI	51.15	0.12
		Dubai Spot	52.91	1.84

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月5日	16:55	独 マークイットサービス業PMI/総合(確報値)	3月 55.6/57.1	55.6/57.0
	17:00	欧 マークイットサービス業PMI/総合(確報値)	3月 56.0/56.4	56.5/56.7
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-1.6%
	21:15	米 ADP雇用統計	3月 263K	185K
	22:45	米 マークイットサービス業PMI/総合(確報値)	3月 52.8/53.0	53.1/-
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	3月 55.2	57.0
	23:30	米 原油在庫統計	-	-
4月6日	3:00	米 FOMC議事要旨(3月14日~15日)	-	-

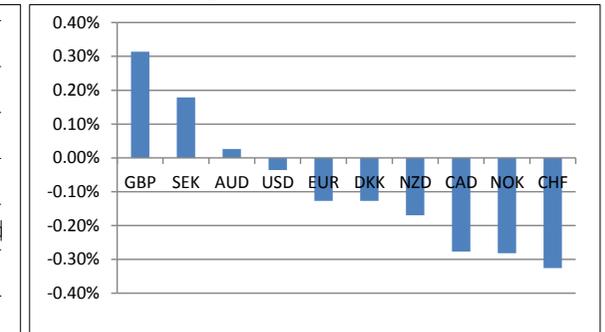
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月6日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:45	中 Caixin PMIサービス業/総合	3月 -	52.6/52.6
	15:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	2月 4.0%/3.9%	-7.4%/-0.8%
	16:30	独 マークイット小売業PMI	3月 -	51.2
	17:10	欧 マークイット小売業PMI	3月 -	49.9
	20:30	欧 ECB議事要旨(3月9日分)	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	250K
	22:30	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.20-111.40	1.0600-1.0700	117.70-118.70

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は、上に往って来いの展開。米3月ADP雇用統計の良好な結果を受けて111円台半ばまで上昇するも、発表直後はタカ派的な内容と捉えられた米FOMC議事要旨で「株価は非常に高い水準」との記載があったことから上げ幅を解消。オセアニア時間には、日米首脳が電話会談し、トランプ大統領が北朝鮮問題に関連して「すべての選択肢がテーブルにある」と発言したことが伝わると110円台半ばまで値を下げた。本日は反発を予想。FRBが伝えたかったのはバランスシートの縮小開始を年内に開始する可能性というフォワードガイダンスであり、株価が非常に高い水準という記載はメインメッセージではないと考える。米ADP雇用統計も良好であり、本日から開催される米中首脳会談が無難に通過すれば、上値トライの局面が到来しても不思議ではない。110.00を明確に割り込むことにはやや材料難であると考えており、7日(金)の米3月雇用統計を控えて自然反発する展開を予想。

東京	朝方は北朝鮮により発射された弾道ミサイルが日本海に落下したとの報道が伝わるも、為替市場の反応は限定的。前日からのドル買い優勢地合いの中でドル円は午前中に高値となる110.92をつけ、東京時間は110.85レベルでオープン。この日はゴト日であったものの、期初3営業日目ということもあり本邦実需勢の動きは限定的となる中、ドル円は110円台後半で横這い推移。午後に入り、日経平均が前日比マイナス圏に転落するとドル円も連れ安の展開となり110.54まで下落。その後は、日経平均が前日比プラス圏まで回復したこともあり、ドル円は110台後半まで値を戻し結局110.66レベルで海外へ渡った。(東京 15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.66レベルでオープン。NY時間にFOMC議事録やADP雇用統計を控えていることから様子見ムードが支配的となる中、横這い推移となり110.95レベルでNYに渡った。ロンドンドルは、1.2446レベルでオープン。英3月自動車販売が過去最高の伸び(前年比+8.4%)を記録したことや、英3月サービスPMIが55.0(予想53.4)と、3か月ぶり水準を上昇したこと等が意識され、1.2495まで上昇した。ユーロドルは、1.0671レベルでオープン。パ・ド・トド連邦銀行総裁が一年以内のECB債券購入プログラムの停止を望むと発言したこと等を背景にユーロドルは小幅上昇し、1.0680レベルでNYに渡った。(ロンドン トルリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外市場のドル円は110円台後半での推移が続き、110.95レベルでNYオープン。朝方発表された米3月ADP雇用統計が予想を大きく上回ると、7日に控える米3月雇用統計への期待も高まり、ドル円は111.43まで急伸。その後、米3月ISM非製造業景況指数が予想を下回り、昨年10月以来の水準に低下したことからドル円は111円ちょうど付近まで下落するが、堅調な米株を背景にこの水準では下げ渋った様子。FOMC議事録(3月14日~15日開催分)公表直後は、再投資政策の変更について議論されていた事が伝わると一時高値となる111.45まで上昇。しかし議事録に「一部の参加者は株価が標準的なバリュエーションの指標と比較して非常に高い水準と捉えている」と記述されていたことや、ライアン下院議長が「ハイハイ、両議院 3者の見解が異なることから、税制改革はオバマ代替案より長引く可能性がある」との発言もあり、米長期金利や米株が下落、日中100ドル以上上げていたNYダウがマイナス圏まで下落する展開に、ドル円も111円ちょうどを下抜けストップを巻き込みながら110.56まで下落。東京時間の安値110.54が意識され同水準では下げ渋り、結局110.70レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.0680レベルでNYオープン。堅調なADP雇用統計を背景にドル買いが強まり、1.0635まで下落。しかし、その後のFOMC議事録、ライアン下院議長の発言などを背景に1.0682まで反発し1.0664レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:坂本・鶴田